

# ガンマナイフ inside 同志による治療の核心



## 遺伝子異常に基づく予測力の高い髄膜腫の新分類

### A molecularly integrated grade for meningioma

Joseph Driver ら (the Brigham and Women's Hospital (BWH)とToronto大学のシリーズ)

Neuro-Oncology 24(5),796-808, 2022

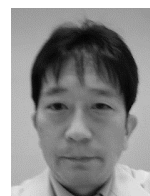
紹介担当 大田記念病院 中崎清之

(ガンマナイフ同志)

洛西シミズ病院 川邊拓也、新須磨病院 近藤威

岡村一心堂 蓮井光一、青山総合病院 水松真一郎

国立循環器病研究センター 森久恵



### Molecularly integrated grade

ポイント(pt)の要件		grade	
右染色体異常 で一つ毎に1 pt	1、3、4、6、 10、14、18、19番 染色体、 CDKN2A/B-	1	0-1pt
		2	2-3pts
有糸分裂数	4-19で1pt	3	≥4pts
	≥20で2pts		

#### 【この報告の独自性】

Copy-number variationsによる  
新たな髄膜腫の分類。  
再発をoutcomeにして、作成した。

#### 【結果の要点】

有糸分裂はWHO分類を引き継ぐ。  
遺伝子検査としては各施設で導入しやすい手法を採用している。  
Grade 3では放射線補助療法の実施の有無でoutcomeに有意差なし。  
更に初発対再発、全摘対部分的、体積25mlも併せるそれぞれをポイント  
化し合算した数値でProgression free survivalを良く予測するとした。

### 各ガンマナイフ治療医の意見

- 数ある論文の中でもかなりの労力が注がれている力作。
- WHO grade 2がgrade 1と3にバラけるのは肌感覚に合う
- Outcome不良の例にガンマナイフでもう少し照射の工夫はないのか？
- 再発を繰り返しガンマナイフ治療を重ねている髄膜腫では、さらなる染色体異常の変化があるような気がする。
- 遺伝子話題は学会ではよく出てきますが、実臨床とはまだ乖離している印象
- 遺伝子レベルでの研究が進めば、有効な薬物療法の出現や治療線量・照射法とかも変わってくるかもしれない

祥和会

脳神経センター大田記念病院 福山ガンマハウス

Brain Attack Center Ota Memorial Hospital Fukuyama Gamma House

〒720-0825 広島県福山市沖野上町三丁目6-28



084-926-3515



084-928-2769